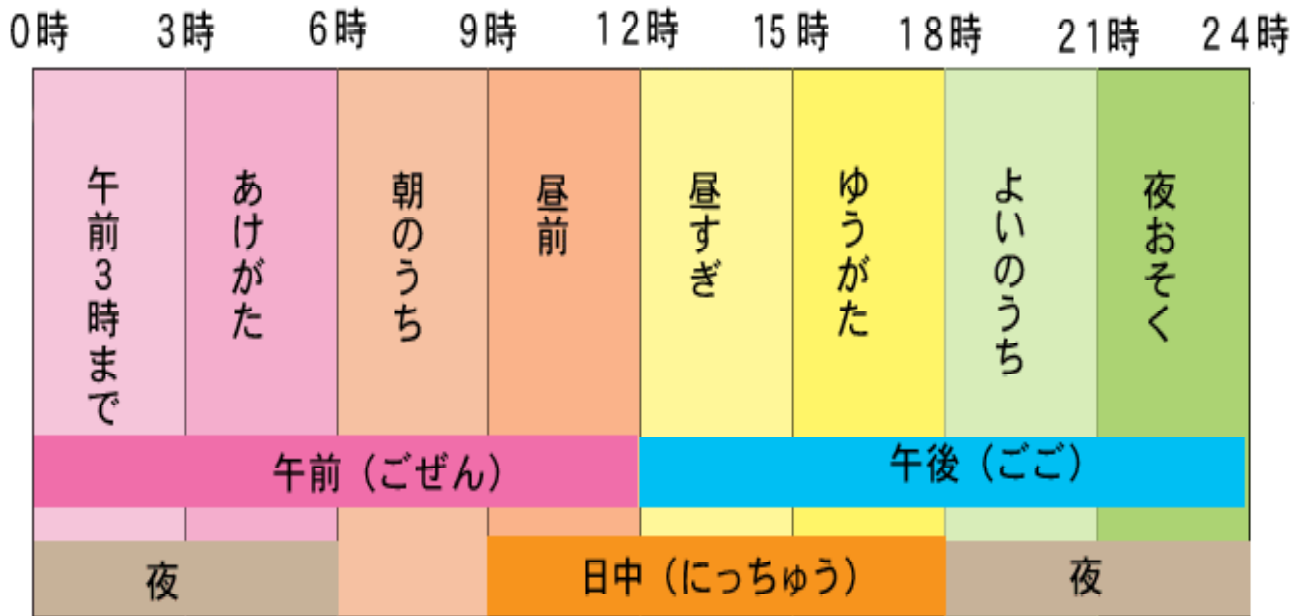


天気予報(てんきよほう)でよくつかわれることば

- 黄砂(こうさ)・・・モンゴルや中国から、黄色い砂が風によって、日本までとんでくること。春などにおこる
- 花ぐもり・・・桜がさくころに、空が全体がうすくくもること。
- 夏日・・・最高気温(さいこうきおん)が25℃以上の日
- 真夏日(まなつび)・・・最高気温(さいこうきおん)が30℃以上の日
- 熱帯夜(ねったいや)・・・最低気温(さいていきおん)が25℃以上あった日
- ヒートアイランド現象(げんしょう)・・・都会で、車やエアコンの熱によって、街中(まちなか)の気温が上がること。
ヒートアイランドとは「熱の島」といういみ。
- 秋雨前線(あきさめぜんせん)・・・秋に長雨をふらせるていたい前線のこと
- 秋晴(あきば)れ・・・よく晴れた秋の天気
- 寒波(かんば)・・・とても温度の低い空気が流れだして、気温が急激に下がること
- 真冬日(まふゆび)・・・最高気温(さいこうきおん)が0℃未満の日
- 初冠雪(はつかんせつ)・・・秋に、山のとっぺんにはじめて雪がつもっているのが、气象台(きしょうだい)から見えること
- 平年(へいねん)なみ・・・過去(かこ)30年の平均値(へいきんち)とおなじくらいのこと
- 一時・・・ある天気の状態が、1日の1/4未満(みまん)のこと
- ときどき・・・ある天気の状態が1時間以上かんかくをあけて起こり、その合計時間が1日の1/2未満(みまん)のこと。または、ある天気の状態が1日の1/2未満(みまん)つづくこと
- のち・・・前とあとで、天気が変わること(例--くもりのち晴れ)
- 異常気象(いじょうきしょう)・・・気温や雨の量が、過去30年の平均値(へいきんち)より大きくちがうこと

天気予報で使われる時間の表し方



天気予報では、1日を3時間ごとに「あけがた」「朝のうち」など、8つにわけた言いかたをします。

そのほかに、1日を大きく2つにわけて、「午前と午後」、「日中と夜」という言いかたもあります。